

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員【事業者・団体等】による
令和6年度の実績について

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
1	公益社団法人 高知県防犯協会 (正会員16団体・賛助 会員114団体)	1,2,3, 4,5	防犯思想の普及と犯罪 防止活動の推進	①防犯団体等との連携の強化 ②「安全安心なまちづくりの日 高知県民のつどい」の開催 ③令和6年全国地域安全運動の実施 ④薬物乱用防止活動 ⑤自転車盗など街頭犯罪の被害防止対策と被害回復の促進 ⑥古物営業の適法適正な業務指導 ⑦金融機関等を対象とする犯罪の抑止対策 ⑧子どもの見守り活動 ⑨広報啓発活動の推進	②ボランティア等104名の参加を得て開催した「高知県民のつどい」において防犯功労者・団体の表彰式を行った。 ①③新聞広告等により全国地域安全運動を県民に広報し、各地域の活動の支援を通じて、関係機関・団体との連携強化と防犯意識の普及と高揚を図った。 ④薬物乱用防止パレードや地域フェアにおいて薬物乱用等防止の啓発活動を行った。 ⑤迅速な自転車防犯登録に努め、中学校において警察やボランティアとともに自転車の鍵かけ運動を行った。 ⑥古物営業法遵守の啓発チラシを自転車店、貴金属店に配付し、法の順守と適正営業を呼び掛けた。 ⑦金融機関、量販店等を対象とした防犯訓練、防犯資器材の無償配付と防犯指導を実施した。 ⑧通称「三もく活動の日」に小学校の登下校時間の通学路見守り活動を実施した。 ⑨関係機関・団体が行う下記の各種行事に積極的に参加して広報啓発活動を推進した。	○防犯ボランティアの高齢化と後継者不足
		1,2,3	防犯団体等が行う防犯 活動に対する協力援助	①自主防犯活動、地域運動の支援 ②高齢者に対する特殊詐欺等の被害防止教室、児童対象の誘拐防止教室の支援 ③青色回転灯等装備車両による防犯パトロール活動の支援	①②各地区(町)で行われた高齢者対象の特殊詐欺等の被害防止教室、児童対象の不審者対応訓練等の防犯活動に対し、「子ども見守りマニュアル」「ながら防犯実践マニュアル」「防犯手帳」や防犯グッズなどを配付した。 ③防犯パトロール団体に対して当協会が所有する青色回転灯等装備車両を貸与した。	○防犯活動の財源確保
		1,4	少年の非行防止の推進	①自転車盗難被害防止対策 ②街頭補導活動や非行防止活動の支援	①自転車盗難被害防止モデル校において、ボランティアとともに鍵かけ運動を実施した。 ②少年指導委員研修会、少年警察ボランティア協会研究会において防犯ボランティアの活動の在り方等について講話した。	○自転車盗難被害防止への意識の希薄
		1,5	少年の健全育成の推進	①「ふれあい少年サポート事業」の支援 ②インターネット利用犯罪被害防止対策 ③各種スポーツを通じた少年の非行防止、被害防止等の保護対策	①県下4地区の「ふれあい少年サポート事業」の開催支援と参加により健全育成を図った。 ②高知駅において関係団体や県警察とともに高校、中学生を対象としたスマホの適正利用にかかる広報啓発を実施した。 ③少年剣道大会において児童及びその保護者に県下における児童等を対象とした犯罪や不審者出没情報を提供することで被害防止活動を行った。	○インターネット犯罪被害への危機意識の希薄
2	高知県地域安全アド バイザー連絡会 (14地区、アドバイ ザー16名)	1,2,3	各種防犯教室の開催	警察や学校、老人クラブ等と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室、高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。 創意工夫をこらし、各種教室の内容を充実させる。	警察等と連携し、幼稚園、保育園及び小学校における誘拐被害防止教室、不審者対応訓練を実施した。 また、依然として高齢者を対象にATMへ誘導し、指定口座へ送金させる還付金詐欺及び架空料金請求詐欺被害が発生していることから、あらゆる機会を通じて、高齢者に対する特殊詐欺被害防止教室等を開催した。	老人クラブ等に参加していない高齢者等への広報啓発方法等を検討する必要がある。
		1,2,3,4	各種広報啓発	①社会の情勢に応じ、従来の方法にとらわれない、あらゆる媒体を活用した広報啓発活動により、地域住民の安全安心まちづくりに対する意識高揚を目指す。 ②全国地域安全運動期間中に、各地区の特性・犯罪発生状況に応じ、警察及び関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識を向上させる。	①イベント・防犯教室等において、各地区の犯罪発生状況に応じた地域安全ニュースの発行・配布や、個人単位で実施可能な「ながら見守り」活動により、地域住民の防犯意識の高揚を図った。また、「地域安全ブログ」により、あらゆる世代に向けた地域安全情報の発信に努めた。 ②各種教室、地域安全イベント、広報キャンペーン等を実施し、防犯意識を向上させるための広報啓発に努めた。	①社会情勢の変化に即応した広報啓発を推進する必要がある。 ②活動規模の拡大・県民の参加を促す活動を検討していくことが必要である。
			地域安全活動の強化	「通学路安全の日」等の各強化日には、学校等の関係機関、保護者、地域住民、防犯ボランティア団体と連携して安全対策に取り組むとともに、各活動強化日の定着を図るため、広報紙や会議等を通じて地域住民等に参加を呼びかける。	地域住民、防犯ボランティア等と協力したパトロール、広報キャンペーン等を実施するとともに、「通学路安全の日」には、各地区において子供見守り活動等を実施した。	防犯ボランティア参加者の拡大、若い世代の人材を確保する必要がある
3	高知県タウンポリス連 絡協議会 (75団体、5,633名、令 和7年3月末現在)	1	地域の見守り活動の実 施	各地域の犯罪発生状況等を踏まえつつ、関係機関等と連携し、防犯パトロール及び子供見守り活動等を強化する。 また、日常生活の中で防犯の視点を持って見守り活動を行う「ながら見守り」を推進する。	警察・学校や地域住民と連携し、通学路安全の日等における子供見守り活動や、不審者情報を認知した際の防犯パトロール等を実施した。 また、日常生活にも容易に取り入れることができる「ながら見守り」活動を幅広く実施した。	会員の高齢化が進み、若い世代や現役世代の会員確保が課題である。 また、活動経費の確保が課題である。
		1,2,3,4	全国地域安全運動等の 啓発活動への参加	関係機関が実施する全国地域安全運動等の啓発行事に参加する。	【見守り活動、パレード、キャンペーン活動】 地域安全運動期間中に見守り活動、街頭パレード、キャンペーン等を実施	会員の高齢化が進み、若い世代や現役世代の会員確保が課題である。
			総会や研修会の開催	会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会や研修会を開催する。	令和6年9月10日に開催し、県内の犯罪情勢等について警察から情報提供を受けるとともに、研修会では大阪府管内読売防犯協力会の高橋参与による「子どもの安全は、街の安全」というテーマで講演をいただき、防犯意識の高揚を図った。	総会の内容を充実させ、防犯活動の活性化を図っていく必要がある。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
4	高知県民生委員児童委員協議会連合会 (72団体・2332人、令和6年4月1日現在)	1	役員会・専門部会・研修会	児童虐待や非行といった課題についての現状や、子育て世帯への支援について情報交換・協議するとともに、ヤングケアラーへの支援など、地域生活課題に対応した研修を開催する。 ・会長・副会長会、理事会、総会ほか ・児童委員専門部会 ・主任児童委員研修会(年1回)	・主任児童委員を対象に「地域学校協働本部の活動と県内の実践事例について」、「児童養護施設退所児への支援と子どもの権利擁護」に関する研修を実施した。また、活動報告や意見交換をとおして、主任児童委員としての活動事例を共有することができた。 ・児童委員専門部会で「にんしん SOS 高知みそのらんぶの活動」についての研修を行い、児童委員・主任児童委員の役割について協議した。	
		1,3	ブロック及び市町村単位での取り組み	それぞれの地域で、高齢者や障害者、生活困窮世帯、子育て世帯等、生活課題を抱えた住民が地域社会から孤立しないよう、各種福祉・保健関係者や多様な機関・団体との連携を深めながら、安心して生活できる地域づくりに取り組む。また、個々の委員を支える民児協の組織活動においては、課題解決に向けた一体的な組織活動の推進やブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。	令和6年7月から令和7年2月にかけて県内11会場にてブロック別研修会を開催した。開催にあたっては、各ブロックでそれぞれのニーズに合ったテーマを選定し、1,828名が参加した。	それぞれの地域特性を活かした民生委員・児童委員活動に資するため、各市町村民児協の活動との連携や情報共有を行うことで、活動を後方支援していく必要がある。
		2,3	その他	関係機関の取組みへの周知等の協力を行う。	・消費生活センターからの情報提供に協力した(各種研修情報の提供や、特殊詐欺等の被害防止に向けた広報)。 ・防犯啓発イベント「安全安心まちづくりひろ」の開催について周知を行った。	
5	公益財団法人高知県老人クラブ連合会 (クラブ数563・会員数18,567人、令和6年4月現在)	1,2,3	会報紙や会議・研修会等を通じた啓発活動	・会報誌に見守り活動等の記事を掲載して啓発 ・会議等において安全安心に関する取組の情報を提供 ・当会の封筒に高齢消費者被害防止の標語を印刷	・全市町村老連の集まる会議で、特殊詐欺被害防止や自転車ヘルメット着用等に関する情報提供をした。 ・県内3ブロックに分かれて開催する「地域支え合い研修会」の中で、高知県警の職員に高齢者を対象とする特殊詐欺被害防止の講演をしてもらった。 ・当会の封筒に高齢消費者被害防止を図るための標語を印刷し、詐欺に遭わないよう啓発を図った。	
		1	地域見守り活動の促進	・当会の実施する「地域支え合い事業」のメニューの中に、子どもの見守り活動を位置付け	・一部の老人クラブでは、「地域支え合い事業」のメニューとして、あいさつ運動をはじめ、老人クラブと児童・園児等が交流することによって、子どもの見守り活動を展開している。	
		3	交通安全への啓発活動	・夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布	・RKC高知放送から寄贈を受けた夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布した。	
6	高知県連合婦人会	1	地域で子どもを見守ろう	・高知県内にある四国八十八箇所霊場のお寺において、住職による地元小学校の児童・生徒に対する防犯・交通安全等の講話を行う	・市戸地区において、地元小学校の児童・生徒に対して講話を実施。防犯・交通安全等のほか、挨拶の励行や感謝する気持ちを持つことを心がける等についても説明した。	
		2,3	特殊詐欺や悪質商法などの被害を防ごう	・会員や地域住民等に対して、電話で少しでも疑問に思ふような内容があれば、詐欺を疑うこと等呼びかける	・各地区において、適宜実施	
		4	鍵かけ運動の呼びかけ	・特に地方における鍵かけの励行を呼びかける	・団体としての活動時だけでなく、住民どうしの日常会話の中でも鍵かけの励行を呼びかけるよう促した。	
7	高知県社会福祉協議会 (会員770団体)		オレンジリボンキャンペーンを通じた啓発活動	・(高知県児童養護施設協議会、高知県児童家庭支援センター協議会、高知県社協による実行委員会形式の取組) ・児童虐待防止、こどもまんなか社会の実現に向けた各種研修・広報活動	・夏のボランティアキャンペーンでのオレンジリボン作成を通じた中高生等への啓発活動 ・高校生対象のポスターデザイン募集及びポスター・チラシ・グッズの作成・配布 ・SNSを活用した「オレンジリボンキャンペーン」の普及啓発 ・児童虐待防止をテーマにした講演会の開催	・一般県民への周知・啓発
		1	地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進	・子ども食堂の開設及び運営の支援 ・子ども食堂の県内全域への普及促進及び食材提供に関する効果的な取組等による支援 ・生活課題を抱える住民への伴走支援	・子ども食堂の開設及び運営の支援 ・企業等からの食材提供に対し、関係機関と連携してニーズに応じた食材マッチングを行い、子ども食堂を支援 ・子ども食堂シンポジウムやスタッフ研修の開催 ・就労及び家計改善支援を通じた自立支援。	・子ども食堂の県内全域への普及 ・子ども食堂の安定的な運営支援 ・コロナ禍以降複雑化、複合化した生活課題の把握と対応
			地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進	・災害ボランティア活動支援に係る体系的な研修の開催 ・市町村社協による災害ボランティアセンターの体制強化に向けた個別支援 ・災害ボランティアセンターへのデジタル技術の導入に向けた試行	・災害ボランティアセンター運営基礎研修、中核スタッフ研修、所長予定者会議の開催 ・市町村社協が実施する災害ボランティアセンターに関する研修の開催支援やマニュアル改定の支援 ・災害ボランティアセンターに導入するデジタル技術の操作説明会、活用練習会の開催 ・防災士の養成	・災害ボランティアセンターに従事するスタッフの育成 ・災害ボランティアセンターへのデジタル技術の導入
		5	見守りや支え合いの地域づくり	・地域の実情に応じた支え合いの仕組みづくりが推進されるように、市町村社協や市町村への支援を行う。	・地域での支え合いの仕組みづくりを進める市町村社協や市町村を支援するために、研修会や個別支援、アドバイザー派遣等を実施。 ・ミニインターンシップ・ワーキングを養成をはじめとした、地域づくりに関する専門職の研修等による養成を推進。	・住民をはじめとする多様な地域の担い手、市町村、市町村社協等による連携・協働による地域づくりの推進 ・複合化した地域生活課題や人口減少など地域の実情に応じた仕組みづくりの推進
			再犯防止に向けた取り組み	・高齢であったり障害がある矯正施設退所者等が地域で安定した生活を送ることができるよう支援すると共に、地域の関係機関の触法者支援に関する理解を進める研修会等を開催 ・再犯防止総合相談窓口の開設	・矯正施設退所者等の支援。 ・触法者支援に関する研修の開催(田野町・須崎市) ・高知刑務所見学会の開催。 ・再犯防止総合相談窓口を開設し、相談を受け付け助言等を実施。	・触法者支援に関する県民の理解促進

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
8	一般社団法人高知県交通安全協会 (県下17支部・約70名、令和7年3月現在)	1,3	見守り活動の実施。啓発活動の実施。会員への意識啓発	交通安全運動等の街頭啓発活動に併せ、事故防止とともに高齢者や子供を犯罪から守るための見守り活動を実施する	県民交通安全日等、各種交通安全街頭指導において、交通事故の防止とともに高齢者や子供を犯罪の被害から守るための見守り活動も併せて行った	現在の活動会員が高齢化しているため、若手の活動会員の人員確保と育成等
9	高知県交通安全指導員協議会 (258名)	1,3	地域で子どもを見守ろう 高齢者などを事故や事件から守ろう	・保育園・学校に出向き、出前ふれあい型交通安全教室を実施開催する。 ・地域、関係機関団体との連携を強化する ・自主防犯組織や民生児童委員とともに、登下校時の子供の見守り活動を行う。 ・高齢者の交通事故防止	- 実践・体験型教室を開催することにより、交通社会に順応できるよう誘導した。 ・薄暮時に、量販店等で自転車用反射材の配布を行い、交通安全を呼びかけた。 ・交通安全運動初日に役場、役所前で実施される交通安全街頭キャンペーンに参加し、交通安全の啓発を行った。 ・通学路において、登下校の見守り活動を行った。 ・子供に対する街頭での保護・誘導活動を行った。 ・高齢者世帯訪問事業に併せて、犯罪被害に遭わないように地域の情報を提供し、注意を促した。 ・地元警察署との連携を強化するとともに、交通安全市町村民会議等に参加し、行政機関との連携も強化した。	人員、時間の確保
10	高知県交通安全母の会連合会 (26支部)	1,3	地域で子どもを見守ろう 高齢者などを事故や事件から守ろう	・子供と高齢者の交通安全対策強化 ・家庭での交通安全教育の向上 ・地域、関係機関団体とのさらなる連携強化 ・安全安心まちづくり活動の推進	・高知警察署での交通安全研修に参加し、自転車乗車中や歩行中の交通事故防止についての講習を受講。 ・交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者を対象とした高齢者出前ふれあい事業として、高齢者世帯を訪問し、啓発物品を配布しながら交通安全啓発を行った。 ・薄暮時に、量販店等で自転車用反射材の配布を行い、交通安全を呼びかけた。 ・交通安全運動初日に安芸市役所前で実施される交通安全街頭キャンペーンに参加し、交通安全の啓発を行った。 ・春、秋、年末年始の交通安全運動期間中及びその他の期間において、通園、通学路で児童の登下校の見守り活動を行い、交通ルールやマナーを指導した。 - 安芸市内の保育所(赤野、矢ノ丸)に訪問し、翌年小学校へ入学する児童を含め、DVD等で横断歩道の渡り方などを教えた。 ・高齢者世帯訪問事業にあわせて、啓発資料を配付しながら世帯訪問を実施。 ・ドライバースervice(通行するドライバーへ啓発グッズを配布) ・幼稚園児に、交通安全に関する紙芝居を見せることで、交通事故やその他の事故に遭遇しないために交通ルールを守ることの大切さを知り、交通安全に対する意識を高める。	人員、時間の確保
11	高知県少年警察ボランティア協会 (17地区・402名、令和6年4月現在)	1,3	見守り活動の実施	各地区や地域の実情に合わせた街頭補導活動や通学路での見守り活動等の街頭活動を実施し、効果的な取組を図る。	少年警察ボランティアの活動状況 【令和6年中】 街頭補導活動：292回(延べ727人参加) 各地区ボランティアが、関係機関、団体等と連携し、小中学生の登下校時間等に地域に密着した街頭補導活動を実施した。	活動の効果を上げるため、関係機関、団体との連携を深め、地域の実情に即した取組を継続する必要がある。
			機関紙への掲載	各地区の少年警察ボランティアの活動状況を紹介する機関誌を有効活用して情報共有と共に連携を図り、活動の充実と活性化に繋げる。	各地区の特色を活かして実施した安全安心まちづくり活動を機関紙「さぼーと」(年1回4～5月、600部作成)に掲載し、会員及び関係機関等に配布して、会員等の活動意欲の醸成を図った。	少年警察ボランティアの活動に対する県民の理解を得て、地域ぐるみで少年の健全育成の社会気運を醸成する必要がある。
		1,2,3,4	啓発活動への参加	関係機関・団体との良好な関係を保持し、お互いの特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。	各地区ボランティアが、関係機関、団体、地元の学生等と連携し、自転車盗難防止活動の広報や声掛けを行ったり、地域安全運動等の行事に参加して、地域住民と一体となった少年の健全育成や地域安全について啓発した。	県民の理解と協力を得るために、活動の趣旨を明確にして広報し、親しみやすい活動にする必要がある。
			研修会等での呼びかけ	総会及び研修会等を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで安全安心まちづくり活動の充実と活性化を図る。	高知県少年警察ボランティア協会の研修会をオンラインを併用して開催。 また、各地区においても可能な範囲での総会や研修会を開催し、子どもの見守り活動や鍵掛け運動の推進等について意見交換し、活動の充実と活性化を図った。	多くのボランティアが気軽に参加できるよう、オンラインや開催場所など工夫を凝らした形の研修会等を検討する必要がある。
12	公益財団法人高知県身体障害者連合会 (27団体、約800人)	2,3	会員への意識啓発	高知県身体障害者連合会の各種会議・研修会を通じて安全・安心まちづくりについての啓発を行う。	高知県安全安心まちづくり推進協議会安全安心まちづくりだより、高知県交通安全推進県民会議高齢者交通事故防止キャンペーンちらし、秋の全国交通安全運動ちらし、くらしネットkochiちらし、安全安心まちづくりニュース、国民生活センター見守り新鮮情報などの情報を会員団体に配布し、啓発した。	会員団体の活動が弱体化しており、情報が会員全体に行き届かないことがある。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
13	高知市老人クラブ連合会 (104クラブ・3,677人、令和6年6月24日現在)	1	地域見守り活動の実施	○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続 ○地域における児童の見守り活動の継続	○新入学児童の登下校時の見守り活動を実施した。 ○各クラブの自主的活動により継続的に実施できた。	
		5	広報紙(機関紙)への掲載	○＃9110の啓発チラシを館内に配置	○南部健康福祉センター老人憩所及び西部健康福祉センター、高齢者いきいきセンター内に配置した。	
		3	研修会等での呼びかけ	○ブロック研修会や活動の中で時宜に応じた講師や内容に工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデササービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施	○ミニデササービス事業への所轄署高齢者アドバイザーによる交通安全教室を実施した。実施箇所11箇所、回数14回、参加者227名	
		3	交通安全意識の啓発	○市老連女性部が主催する「女性大学」の学習課程に交通安全教室を組み込む。	○高知南警察署の協力を得て交通安全教室を開催 ○秋の交通安全運動期間中に無事故無違反チャレンジ100を実施した。	
14	あさひのこどもを守る会	1	地域で見守り活動	○小学校全登校日の登下校時の見守りパトロール、通行量最大横断歩道(約300人)での安全確保 ○晴天時の下校時における横内小・旭小学校通学路での青バトによるパトロール ○月1回自転車夜間照明点灯の指導・安全指導 ○第3火曜日の夕刻に会員等によるパトロール等を実施 ○会員による活動PR	○登下校時同伴パトロールを実施した。 ○交通頻繁な横断歩道(利用児童約300人)での安全確保・交通指導を実施した。 ○青バトによる下校時(晴天時)パトロールを実施した。 ○第3火曜日の夕方、会員・民生委員児童委員等による地域内の歩行パトロールを実施した。 ○毎月15日(土日・祝日の場合は翌日)の夕方、主要交差点での自転車点灯指導を実施した。 ○会員が町内に出かけるときには、会指定の帽子をかぶって住民に見守り活動をしていることをPRした。	○会員の高齢化等によりボランティアの参加が減少している。
		1.3	安全安心なまちづくり啓発広報	安全安心なまちづくり啓発パレードを実施する。	実施日時 10月24日 16時から17時 場所 高知市立旭小学校体育館	参加者の減少
		2.3	特殊詐欺等の被害防止の取組み	特殊詐欺被害防止等の広報・啓発活動を実施する。	高齢者が集まる行事の機会に啓発活動を実施した。	マンネリ化傾向にある。
		5	情報交換、防犯・安全への呼びかけ	情報交換を行う 旭西部地域内広報紙「あさひ西方見聞録」に活動状況等を広報、地域住民に配布	定例会・交流会開催 地域内へ広報紙を配布した。	定例会への参加が少ない。
15	高知県更生保護女性連盟 (県下13地区・約640人、令和6年4月現在)	1	地域の見守り活動	子どもの見守り運動、犯罪被害予防の実施	・各地区において、小学校通学路における新入学児童等の見守り及びあいさつ運動を実施。 ・特定の地区において、子ども食堂に対し、支援・協力を実施。 ・各地区において、小学生を対象に交通安全教室を実施。 ・各地区において、青少年育成センター等から不審者情報があればすぐに注意喚起及び登下校時の見守りを実施。 ・社会を明るくする運動で犯罪予防を呼びかける標語を当番の中学校から募集し、優秀作品を記載したパネルを家庭や地域の掲示板に掲示した。	会員数の減少や高齢化等に伴う活動回数等の減少や会員負担の増加が課題。
		2,3	地域の見守り活動	高齢者の見守り、犯罪被害予防の実施	地区の高齢者世帯を個別訪問し特殊詐欺や交通事故に遭わないよう被害防止を呼びかけた。	会員数の減少や高齢化等に伴う活動回数等の減少や会員負担の増加が課題。
		5	広報	安全安心まちづくりポスターを掲示	地域の掲示板等に安全安心まちづくりポスターを掲示した。	
		5	地域連携	犯罪防止のための啓発活動等の実施	・国や県が推進する再犯防止推進計画に係る再犯防止のための協議会に参加した。	
16	高知県小中学校PTA連合会 (6団体、21422人)	5	○活動方針として取り組む	県小中学校PTA連合会総会において、「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ、取り組む。	事件・事故・災害から子どもの生命と安全が守られるよう研修会などで会員の意識啓発を行った。	
		5	○広報紙・ホームページへの掲載	県小中学校PTA連合会の広報紙・ホームページに犯罪のない安全安心まちづくりに関する記事(地域で子どもを見守ろう)シンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う。(7月発行予定 約25,000部)	地域の見守り活動への参加に関する記事を掲載した広報紙「高知県PTA新聞」(7月発行)を24,425部印刷し、会員の意識啓発を行った。	
17	高知県小中学校長会 (7支部257名、令和6年12月末現在)	5	研修会等における協議・情報交換等の実施	児童・生徒の健全育成の推進について 児童・生徒の健全育成のための心の教育、いじめ、暴力などの課題解決の取組について連絡し、あり方を協議する。 学校等における安全教育・安全管理の充実について 児童・生徒の命を守り抜くための安全教育、安全管理の充実の取組について連絡し、あり方を協議する。	吾川支部から、小規模校における学校間交流を生かした健全育成の取組発表があり、児童生徒の交流と地域の見守りについて協議した。 士長南国支部から、地域の自主防災会やPTAと連携した防災教育、安全教育の取組発表があり、児童生徒の地域貢献などについて協議した。	小規模校や過疎地域が多く、児童生徒の交流や地域とのつながりの確保が難しい。 学校と協働できる地域の方が高齢化しており、現役世代との関わりが難しい。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
18	高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 (スクールガード・リーダー44名、令和6年)	1	学校や通学路の見守り活動	22市町村で44名にスクールガード・リーダーを委嘱し、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、巡回指導や学校及びスクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導助言等を行う。	22市町村で44名にスクールガード・リーダーを委嘱し、幼保小中合わせて148校等(うち小学校は110校)へ巡回指導を実施した。子どもの見守り活動の促進、学校内外の防犯環境及び組織体制の整備等について、専門的な指導助言を適宜行い、子どもの安全確保に努めた。	スクールガード・リーダーは地域の犯罪を防止する抑止力になっているが、高齢化に伴って人員が減少する一方で、委嘱する市町村が固定化されて人員の確保が難しくなってきたり、他の市町村にも体制を広げる必要がある。
		5	スクールガード・リーダー連絡協議会及び高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会の同時開催	スクールガード・リーダーの活動の充実に向け、研修や情報交換の場として、スクールガード・リーダー連絡協議会(各市町村担当者も参加)を同時開催する。	スクールガード・リーダー連絡協議会を開催し、スクールガード・リーダーの活動の充実に向けての事業説明、講話を行った。講師には元文部科学省 安全教育調査官で小学校長として勤められた吉門直子氏を招聘し、学校と地域の見守りボランティアとの連携についてご講話いただいた。また、スクールガード・リーダーだけでなく、各市町村の担当者の参加もあり、スクールガード・リーダー同士、市町村担当者同士での情報交換も行った。	見守り活動だけでなくスクールガード・リーダーが、スクールガード(学校安全ボランティア)の活動に指導助言役として効果的に関わり、専門的な知見を活かした見守り活動が展開されるよう、市町村に働きかけていく必要がある。
19	高知県経営者協会	5	会員への広報	「安全・安心まちづくりニュース」をホームページに掲載し、会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。	「安全・安心まちづくりニュース」をホームページに掲載し、会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかけた。	特になし (なお記事に特殊詐欺に対する啓発が頻繁にあっても良いのではと思う。特集記事でも良い、手口が巧妙化しており啓発がもっと必要だと思う)
20	高知県商工会議所連合会 (6団体・約6,800人、令和7年3月末現在)	5	広報活動	①会員企業に対して、広報誌やホームページ等を通じて地域安全について理解、協力依頼を行うなど、間接的防犯活動の実施 ②啓発ポスターの掲示	①自主防災活動への協力依頼記事をシンボルマークとともに広報誌「高知商工会議所(会報3月号)」に掲載。会員企業・関連施設に3,400部配布 ②年間を通じ当所掲示場所に啓発ポスター(県民総ぐるみでの地域安全運動、鍵かけ確認)、推進会議作成ポスターなどを掲示	取組みが毎年同じ内容になり、マンネリ化している。 当連合会事務所がある高知商工会館が新築工事に入り今後ポスター等掲示場所確保が難しい。
21	高知県商工会連合会 (26団体、約180名)	1	地域見守り防犯活動の実施	地域の安全・防犯のため見守り活動(パトロール)を行う。	自主防犯パトロール(不定期)を実施した。	業務が忙しく、定期的にパトロールを行うことができない
		2,3	犯罪等の予防のための連携	事業者が対象となる犯罪を未然に防止、犯罪や事故の被害から守る活動を推進する	会員事業所を訪問する際に、詐欺等の被害防止を呼びかけた。	口頭だけでなく、チラシ等を配布する
22	高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 (9支部、189事業所)	1	「子ども110番の宿」活動の実施	〇組合青年部による子どもを守る活動の「子ども110番の宿」活動の普及に努める 〇子供が宿に助けを求めてきた場合、子どもを保護するとともに、子どもに代わって110番通報する	5/27青年部総会にて「子ども110番の宿」について意識啓発 次年度より子どもだけでなく、旅行中のトラブルも含め地域の安心安全を守る活動に取り組む事を検討開始	
		5	全国地域安全運動等への参加	〇全国地域安全運動、年末年始における防犯活動への参加	〇各会総会等への参加	
23	公益社団法人高知県建築士会 (会員約1,000人、令和6年4月現在)	5	高知県建築士会報・ホームページでの広報啓発	①会報「高知 建築士」に安全安心まちづくり記事を掲載し、会員等に配布 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力	①会報「高知 建築士」に県からの啓発記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④年間2回、建築物防災週間に県と現地調査を実施	
24	高知県金融機関防犯連合会 (46団体)		情報提供の推進	特殊詐欺の手口が多様化していることから、犯罪情勢に応じたタイムリーな情報発信を行い、「だまされないための対策」を強化する。 被害に遭っている可能性の高い顧客等に対する声かけを積極的に行い、「だまされても被害金を取られないための対策」を推進し、警察への通報を呼び掛けるなど、未然防止を図る。	特殊詐欺被害の認知及び予兆電話の多発等があった場合は、警察からの依頼により各店舗に対して、顧客への注意喚起、ATM警戒等の連絡を行い、被害防止対策に努めた。	特殊詐欺被害及び予兆電話は手口が変遷することから、タイムリーかつ効果的な情報発信を行う必要がある。
		2	被害防止対策の推進	特殊詐欺被害を未然防止するため、警察と連携をとり、最新の手口や多発している手口に対する注意喚起や声かけ訓練等を推進し、被害防止対策の強化を図る。 また、顧客の安全を守るため、店内巡回、駐車場の見守り活動等を促進し、犯罪のない安全安心まちづくりの確立を目指す。	特殊詐欺被害に遭っている可能性が高い顧客への声かけの実施や不審口座のモニタリング等で被害の未然防止に努めた(令和6年中の金融機関職員における未然防止10件)。 各店舗において声かけ訓練を実施し、未然防止対策の強化を図った。 特殊詐欺被害が続発していることから、ATM付近において携帯電話の通話をしない「STOP! ATMでの携帯電話」宣言に基づき、無人のATMコーナーへアナウンス機能付き看板を設置して、被害防止対策を図った。	特殊詐欺被害(被害金額)が増加しており、高齢者のみならず、若い世代にも被害が拡大しているため、今後も効果的な情報発信を行う必要がある
		2,3	全国地域安全運動等への参加	全国地域安全運動、年末年始における犯罪抑止活動(特別警戒)へ参加する。	全国地域安全運動期間中に、特殊詐欺等被害防止にかかる広報啓発キャンペーン等を実施し、特殊詐欺、その他犯罪被害防止に関する意識の高揚を図った。	各種キャンペーン等の行事へ参加し、犯罪の未然防止について意識を醸成していく必要がある。
		5	店舗の防犯体制の強化	カラーボールの配置、防犯カメラ、緊急通報装置の点検、効果的な活用を図り、店舗の防犯体制を強化する。 警察と連携し、実践的な強盗対応訓練を実施する。	各店舗が、警察と協力した強盗対応訓練を実施し、店舗の防犯体制や通報体制を強化した。	訓練を継続的に実施し、有事における適切な対応について、意識の醸成を図る必要がある。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
25	高知県石油業協同組合	1	地域安全シェルター「かけこみ110番連絡所」の実施	「かけこみ110番連絡所」の継続	「かけこみ110番連絡所」の施策を実施し、子供等に対する有事の際は初期対応を行う。	
		5	緊急時の石油製品安定供給化事業	2024/11/6 災害時対応実地訓練の実施及び自家発電機点検・稼働訓練 資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加	左記訓練を実施・参加し、有事に備えた対応要領を確認するとともに、関係機関・団体と情報共有を図った。	
		5	自治体主催の総合防災訓練への参加	2024/5/26 香南市野市町で開催される訓練に参加する	左記訓練に参加し、有事に備えた対応要領を確認するとともに、関係機関・団体と情報共有を図った。	
26	高知県理容生活衛生同業組合 (組合員284人、令和7年3月25日現在)	1	安全シェルター活動(子ども110番の車)の実施	関係資料を配布し、活動への理解と協力を深める	関係資料を各店舗へ配布し、取組への協力を依頼した。	組合の活動の一環であり、「地域に根差した店舗」としての取組であることの周知を徹底し、浸透を図りたい。 配布物を読むことで安心なまちづくりに対して関心をもつきっかけとなることを期待したい
27	高知県遊技業協同組合	1	各ホール駐車場における防犯対策の実施	子どもの車内放置・強盗、車上狙い等の被害防止活動	駐車場の巡回、ポスター掲示、店内放送を実施。 子ども車内放置事案については「発生なし」を継続して達成中	取組を発展的に継続させること
		5	安全安心まちづくり推進会議の活動方針等を団体の活動に反映させる	高知県安全安心まちづくり推進会議総会に出席して情報を共有するとともに、推進会議の活動重点テーマ等を自団体の事業計画に反映させる。	自団体の事業計画等に反映または活動の参考とし、各種活動に取り組んだ。	
			子ども食堂への寄贈	社会福祉協議会を通じて、子ども食堂へ飲料水を寄贈	年末のクリスマス時期に合わせ、社会福祉協議会へ飲料水を寄贈し、県内の子ども食堂に配布	
28	一般社団法人高知県トラック協会 (会員6支部409社、約8,000名)	1,3	地域見守り活動の実施	・会員企業の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する	・会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施した ・会員企業の一全車両に「子どもを守る安全運転宣言車」のステッカーを貼付し、未来を担う子供を交通事故等から見守り、一般のドライバーへの啓発活動を実施した	
		5	広報誌への掲載	広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う	広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行った。	
29	一般社団法人高知県警備業協会 (会員40社・約2,000人)	1	地域における子供見守り活動	県内各地において「青色回転パトロールカー」を使用した巡回・警戒・声かけ活動を積極的に実施し、子供を事件・事故から守る活動を展開する。	○令和6年度中、高知市、四万十市、嶺北地域 香美市において通学路や公園を中心に青色回転パトロール活動を94回実施した。 ○青色回転パトロールをより効果的に実施するため、高知県警から提供される不審者情報をパトロール実施会員に提供し、重点的なパトロールの支援を行った。	青色回転パトロールの実施回数はここ数年減少傾向にあったが、積極的な実施の呼びかけにより対前年比で増加した(対前年度比+11回)ことから、今後も呼びかけが必要である。
		5	地域安全活動への積極的参加	県や県警が行う各種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。	高知県安全安心まちづくり推進会議総会に出席。その他行事への積極的参画。	
30	高知県指定自動車学校協会 ・協会事務局 ・県下教習所11校(約300人)	3	教習所における高齢者交通安全対策	教習所において高齢者交通安全教室を開催する	1教習所において、自治体・自動車販売店と協賛して高齢者交通安全教習を開催し、参加者に交通安全を呼びかけた。	開催できる教習所が少ない。
		5	広報紙の配布による広報啓発	高知県安全安心まちづくり推進会議発行の広報紙「安全安心まちづくりニュース」を県内全11支部に配布して情報共有を図り、各種活動に生かしてもらう	計画に基づいて配布し、情報共有等に活用した。	
31	株式会社ドコモCS四国高知支店 (36名、令和7年4月現在)	3,4	社員への啓発	鍵かけの励行、交通安全や安全運転の推進等に関して、各種研修・周知による社員およびその家族への啓発活動を継続	・社内イントラネットへの「安全衛生ニュース」の発行(毎月)、事務所への掲示 ・社内向け安全運転研修の実施 ・安全運転管理者協議会連合会より配布の「歩行者優先・飲酒運転撲滅宣言者」ステッカーの社有車への貼付 ・各種デジタルツールを使用した安全に関する従業員教育の実施	
		5	公的機関依頼に基づく防犯運動等への参加	官公庁が行う全国地域安全運動の活動等の諸活動への参加継続	・高知県警：高知県ネットワークセキュリティ連絡協議会研修会(オンライン研修会)への参加 ・高知県警、四国総合通信局主催「春のあんしんネット該当啓発活動」への参加 ・高知地区安全運転管理者協議会主催：交通安全キャンペーンへの参加 等	

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
32	日本貸金業協会高知県支部 (4名、令和7年4月現在)	2.3	ポスターリーフレットの配布	金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める。	金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努めた。 金融トラブル防止のためのQ&ABOOK約25.5万部を無償で配布した。	
			ホームページへの掲載	引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。 協会ホームページに出前講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進する。 (ホームページURL：http://www.j-fsa.or.jp)	(1)引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行った。 協会ホームページに出前講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進した。 (ホームページURL：http://www.j-fsa.or.jp) SNS広告配信実績(R7.2月末現在) ・TikTok視聴約500万回 ・YouTube視聴約113万回 (2)SNS等 副業や投資等により簡単に儲けられると洗脳し、消費者金融から借金させる金融トラブルに係る注意喚起のため、多くの資金需要者が生活環境の変化を迎える令和7年3月12日から同月31日の期間、SNS等、6媒体を同時にフル活用し、集中的な注意喚起キャンペーンを展開。	
			関係機関との連携	行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努める。	行政・消費生活センター・警察等関係機関と情報共有などによって連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努めた。	
			消費者等からの相談対応	消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談対応にあたる。	消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応した。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努めた。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談対応にあたった。	
			講師の派遣	各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。	各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣し、広報啓発・注意喚起などを行った。	
33	西日本電信電話株式会社高知支店 (5事業所、約470名)	1,2,3	研修や催事などにおける広報啓発	・児童・生徒向けインターネット安心・安全利活用講座「e-ネットキャラバン」を実施 ・関係機関と連携した特殊詐欺などの被害防止に向けた呼びかけ	●2024.5 e-ネットキャラバン「e-ネット安心講座」香南市内の中学校で開催 ●2024.6 e-ネットキャラバン「e-ネット安心講座」須崎市内の小学校で開催 <講座内容> ネット依存・ネットいじめ・あやしい情報の拡散・誘い出し/なりすまし・ネット詐欺・著作権肖像権について、動画を交えて講義 ●2024.8 「ナツボラ」で特殊詐欺ゼロを呼びかけ <ナツボラ> 高知県ボランティア・NPOセンター主催のボランティア活動。学生ボランティア12人を中心に、高知県警察本部、生命保険各社、銀行各行、総勢約30人の方々と連携し、特殊詐欺被害ゼロを高知市民の皆さまに呼びかけた。 ●2024.10 令和6年度安全安心まちづくりひろば(イオン高知)での、ダイヤル171体験ブース出展 【高知県警察本部生活安全企画課と連携し、特殊詐欺撲滅減資料配布、ナンバーディスプレイ体験ブース出展】 ●2024.11 「高知ユニテッドSCvs.クリアソン新宿」での“安全安心な街づくり”ブース出展	■e-ネットキャラバンの認知度向上 (高知市近郊の学校からのお申込みに加え、認知度向上を図り、県全域へ展開することで、ネット被害防止を図る)
			高知県警察と連携した交通安全・安全運転の取組の推進	運転者の安全意識と技術向上、交通事故防止を目的に安全運転講習会などを実施する。	●高知県警安全運転技能指導官を講師にお招きし、「職業ドライバーの交通事故」をメインテーマにした講話を受講。また、屋外に移動し実際の運転や、電気自動車に乗車する際の注意点等について実技指導を受けた。 ●高知県警察本部職員による飲酒運転撲滅セミナーを開催し、飲酒状態を体験できるゴーグルを使用した疑似体験を通じて危険性を体感した	
			公式ホームページでの注意喚起	NTT西日本ならびに高知支店の公式ホームページで、犯罪防止に向けた注意喚起	特殊詐欺被害防止に向けた取組の推進、悪質な販売行為への注意喚起などを自社公式ホームページに掲載し、被害防止を推進した。	
			交通安全の啓発	職員向けの研修及び飲酒運転根絶に向けた標語募集の実施	「飲酒運転いかんちゃ！」と題し、飲酒運転及び飲酒に伴う事件事故根絶に向けて、社員一人ひとりのマインド変革を促すことを目的としたセミナーの開催や標語募集等を実施。(2025.2)	
		5				
34	株式会社高知銀行 (58店舗)	1	安全シェルター活動の実施	各支店に対して「こども110ばんのぎんこう」の取組の積極的な広報活動を指示するとともに、子供の見守りや有事の際の対応要領を周知させる。	営業店に「こども110番のぎんこう」シールを貼付し、こどもの見守り活動を行なった。	活動時間が営業時間に限られ、下校時の対応が難しい。
		5	行内報への掲載による広報啓発	行内報「あけぼの」に安心安全まちづくりに関する記事を掲載し、職員の意識啓発を行う。	行内誌「あけぼの」に安心安全まちづくりに関する記事を掲載し、行員の意識啓発を行なった。	隔月発行のため、記事掲載に余裕が少ない。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
35	四国電力株式会社高知支店 (四国電力送配電株式会社高知支社、中村支社)	3	「ながら見守り」活動などの地域における見守り活動の実施	職員が屋外業務中に見守り活動を行う	●高齢のご夫婦が道に迷っており、目的地までバイクで誘導案内し到着したところ、感謝の言葉をいただいた ●バイクで移動していた際、バイクで走行中の高齢女性が転倒した状況を目撃したが、幸い大きな怪我もなく、安全な場所へ避難させた ●高齢者がコケが生えて滑りやすい下り坂をバランスを崩しながら歩いていてことから、声をかけ手を貸して一緒に移動した	スマートメーター普及による自動検針の増加、社員の屋外業務の減少、検針員の減少などから、地域住民との接触機会が限定的となり、従来レベルでの見守り活動は困難となっている。
		5		職員が出退勤中又は業務外に見守り活動を行う	●帰宅途中、自宅付近の踏切手前で酔って座りこんでいる高齢者を発見したため、声かけ後、タクシーを手配したが、酔っていることを理由に乗車を拒否された。よって警察に連絡し、警察が到着するまで現地で介抱し続けた。 ●帰宅途中、自転車同士との接触により負傷した事故現場に遭遇した。二次的な事故を防止するため、救急車が到着するまで交通整理を続けた。 ●自転車を押した高齢女性が、店舗駐車場から歩道に移動しようとした際、歩道を走行してきた自転車と接触しそうになり、女性の自転車が倒れて、買い物袋の中身が歩道に散乱した。女性に声を掛け、ケガがないことを確認するとともに、自転車を起こし、歩道に散らばったものを拾い集めた。高齢女性より対応への感謝の言葉をいただいた。 ●公園内を愛犬と散歩中、高齢者が自転車とともに植え込み内に倒れこみ、体の上に自転車が倒れかかって立ち上がることが出来ず困っていたので、高齢者に声をかけた後、自転車を起こし、高齢者を植え込みから救出した。そして、高齢者の様子が落ち着いて帰宅できるようになるまで傍に寄り添った。 ●休日の病院で弱視と思われる高齢者が窓口で受付簿記入にお困りの様子であった。本人に了解を得て、受付簿に代筆し、受診カードを代理で提出した。高齢者から感謝の言葉をいただいた。また、この後、3回ほど、同一人物と窓口でお会いし、その都度、お手伝いをした。	取組に関する職員への更なる啓発
36	一般社団法人高知県産業廃棄物協会 (正会員118社、賛助会員21社)	4	自主行動の強化 ○自助・共助活動 ○広報、啓発活動	①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ②事業所内へポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。	①事業所はもとより、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を講じた。 ②啓発ポスターを事業所内の目立つところに掲示した。	
			安全安心まちづくり推進会議の事業方針との連携及び自社事業計画の樹立、会員への意識付け	①各会議等で、この会議の取り組み等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布等を継続して行う。	①理事会等において、この会議の取組等の説明を行った。 ②正面出入口に「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」を掲示した。 ③会報「安全安心まちづくりだより」、広報紙「安全安心まちづくりニュース」をHPに掲載し、啓発に努めた。	
		5	安全安心まちづくり推進会議との協力、取組の推進	会報「安全安心まちづくりだより」、広報紙「安全安心まちづくりニュース」の内容を会員へ迅速に周知させるため、配布及び協会HPで広報する。 高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡などについて、迅速に会員事業所へ通知するとともに、取組を推進する。	会報「安全安心まちづくりだより」及び広報紙「安全安心まちづくりニュース」を次のとおり、当協会HPに掲載した。 ●「安全安心まちづくりだより」 (令和6年度第1号)HP掲載6/21 (令和6年度第2号)HP掲載11/5 (令和6年度第3号)HP掲載12/6 (令和6年度第4号)HP掲載3/13 ●「安全安心まちづくりニュース」 (令和6年度第1号)HP掲載7/8 (令和6年度第2号)HP掲載8/27 (令和6年度第3号)HP掲載11/5 (令和6年度第4号)HP掲載1/30	
37	高知県自転車二輪車商協同組合 (組合員55人、令和7年4月1日現在)	3.4	利用者への交通安全、事故防止・鍵かけの励行等の呼びかけ	組合店が来店客に対して、自転車の安全利用、交通ルールの遵守、鍵かけの励行などと呼びかけたり、乗車時のヘルメット着用等の啓発を行ったりする。	県下の組合店において、適宜実施した。	
38	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 ペンディング西四国支店	5	自治体・団体への災害支援の提案	自販機の機能を活かした、市民への行政情報提供及び災害支援対策への対応	行政関係での自販機については災害対応自動販売機を設置	通常自動販売機と比較してコストがかかる
		5	自治体・団体等への市民サービス支援の提案	自販機設置契約先と協働して、地域のスポーツ・まちづくり・環境・観光・福祉等の支援を希望する団体などに対して、売上の一部を寄附することができる自販機の設置を促進する。	よさこい祭り支援機やオレンジリボン支援機を設置した。	新たな展開(拡大)が課題

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
39	株式会社四国銀行 (高知県内63店舗)	2,3	特殊詐欺などの被害防止の推進	①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで特殊詐欺等の被害防止を行う ②ATMコーナーには、犯罪被害防止の啓発チラシ等を設置	①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで特殊詐欺等の被害を未然に防止した ②利用者の目に留める場所に、犯罪被害防止の啓発チラシ等を設置し、啓発した ③AI画像分析を活用した振り込み詐欺検知システムの実証実験	①特殊詐欺等の手口が複雑・巧妙化していること、②SNS等での個人間でのやり取りかつ、インターネットバンキングを利用した振込等が行われることがあり、声掛け等では対応できない場合が予想される
40	リコージャパン株式会社高知支社 (社員77名)	1	子どもの見守りに関する取組の推進	「こども110番のくるま」活動への協力を検討する。	「こども110番のくるま」のステッカーなど、この取組に関する調査を行った。	「こども110番ステッカー」について調べたが手配まで至っていない。社内で台数を決めて運用まで実施する
		2	特殊詐欺の被害を防ごう	セキュリティ対策セミナーの開催や、訪問時に対策チラシを配布するなど、犯罪被害防止活動の実施	・11月展示イベントにて、お客様へセキュリティ対策関連のセミナーや、セキュリティ対策関連商品をご紹介します。 ・社員へ攻撃型メール犯罪について、啓発を行った。	・日々新しい手口や手段になるサイバー攻撃への対応と社員のセキュリティ意識向上
		5	防犯・防災の意識啓発	○社内の防災対策をお客様に見学頂く事で、南海トラフ地震対策の意識を高める事に貢献する。 ○事業所内に「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」を掲示し、社員への意識付けを行う	○支社内の防災対策(BCP対策)をお客様に見学いただくと共に、社員への防災取組を紹介し、会社以外の自宅や地域への防災に目を向けるきっかけ作りとなった。 ・社内防災対策(飛散防止フィルム、折畳ヘルメット) ・自宅の家具転倒防止措置 ・自テリトリーや自宅周辺等の避難場所確認 ○事業所内に犯罪被害防止に関するポスターを掲示するとともに、安全安心まちづくり通信を支社内へ展開して、防犯や防災等と呼び掛けた。	お客様にBCP対策に関する見学に複数ご来場頂き、取組をご紹介出来たが、セミナー開催など大きな催しが出来なかった。来期検討。
41	一般社団法人高知県建設業協会 (会員数441社)	1	地域見守り活動の実施 (嶺北支部)	毎月20日前後に青色回転灯装備車両によるパトロール	・青色回転灯装備車両によるパトロール ・会員による出社・退社時の見守り	会員、児童の減少や過疎化
			地域見守り活動の実施 (高知支部)	年4回(6月・9月・12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する	6月・9月・12月・3月に中心街地区で、高知警察署にも協力いただき、防犯パトロールを実施した。	
			地域安全活動の一環で児童見守り活動実施 (伊野支部)	朝の登校時、児童の見守りを地元の警察署、学校、PTA、近隣の住民と連携して行う。 地区ごとに当番制にして団体の会員全員が参加する	8月を除く毎月第3木曜日の朝、児童の登校時(7時～8時頃)に2名ペアで近隣の小学校の通学路、横断歩道などで児童の安全を見守る活動を実施した。	年間の当番表に基づきなるべく負担を少なく継続していく
		1,3	地域防犯活動年末防犯パトロール (伊野支部)	年末の商店街、繁華街を徒歩で巡回、放課後及び冬休み前の児童、生徒等へ夜間の防犯を呼びかける。また、地域住民にも呼びかけを行い、犯罪のない街づくりを目指す	令和6年度は12月19日に、いの町内の商店街等を1時間ほど徒歩にて巡回し、年末の防犯を呼びかけた	管内の山間部では繁華街が無いことから、人数が集約している町で実施している
			防犯パトロール (高吾北支部)	毎月1回、日を設定して3班で交代	●越知地区 毎月第3金曜日、3班で交代 のべ28名 ●佐川地区 出来る時随時 ●仁淀川地区(旧吾川地区)毎月25日、3班で交代	実施できてない地区もある
			地域の見守り活動の実施 (中村支部)	行事の開催中は普段より人や車の出入りが激しいため、事故や事件に合わないよう、見守り・声かけを行う	9月7日(土)しまんと市民納涼花火大会にて防犯パトロールを実施した	パトロールの効果的な時間帯がいつなのか
42	NPO法人高知県防犯設備協会 (法人会員15・個人会員1、R7.4現在)	1	子供の安全を守る活動	会員企業による登下校時の通学路安全見守り活動	高知市朝倉周辺において、会員企業の職員が、登下校時の児童・生徒の見守り活動を実施した。	活動できる会員企業を増やすこと
		5	関係団体との連携	高知県、高知市、高知県警察、公益社団法人高知県防犯協会が行う各種防犯活動へ参加する	各機関が開催した総会や理事会等へ出席し、情報共有などを行った。	
43	セキスイハイム東四国株式会社	2	特殊詐欺等の被害防止 (オーナー向けの書類に啓発チラシ等を同封)	防犯・防災目的の警察との連携	特殊詐欺等の被害防止に関するチラシを配布し、顧客に被害防止を呼びかけた。	
		5	夜間防犯を意識した地域づくりの提案・実現(常夜灯の設置)	自社分譲地内の住宅建築について、夜間防犯の為の常夜灯の設置を外構計画で提案	香南市市野町西野にて自社分譲地内の外構計画にて全部夜間外灯点灯にて設置し、特定の地域全体での防犯対策を実現した。	安心安全の為の夜間点灯に対する理解を広める事
44	ダイドー・タケナカベンディング株式会社	2	特殊詐欺撲滅支援ベンダー(自動販売機)の設置、推進	被害防止を呼び掛ける音声付自動販売機(ダイードリンコ)を設置することにより、広告パネルとアナウンスで被害防止を呼び掛ける	新規設置のご案内と既存設置先の管理を実施	設置先様のご理解とご協力がないと設置できない。逆に、当年度は売上低迷の為、撤去が増えた。 警察署内での自販機設置についても入札制度の為、設置台数0。 CSR経営はもちろん、CSV経営に対する市場の理解が追いついていない感じがする。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度 of 取組実績について

注: 重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
45	株式会社ほっかほっかフーズ	1	①「こども110ばんのいえ」の取組の推進 ②「こども110ばんのくるま」の取組の推進	①子供の見守りや有事における子供の保護等の取組を行う「こども110ばんの家」について、高知県内のほっかほっか亭40店舗に安全シェルターのステッカーを貼付して取組を推進しており、今後も継続する。 ②「こども110ばんの車」のステッカーを自社の車両に貼付して子供の警戒活動を活性化するとともに、活動車両を増やす	①、②ステッカーを貼付した店舗や車両において、子供の見守り活動を行った、	
		1,3	お弁当包装紙デザインの活用	自社制作のお弁当の包装紙に安全安心まちづくり推進会議が展開する「令和6年度高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」の受賞作品の図柄を掲載し、県民に防犯や地域安全に取り組んでもらう施策であり、継続して取り組む。	高知県内ほっかほっか亭40店舗でお弁当を販売する際、お弁当の包装紙に「令和5年度高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター受賞作品」とコラボしたデザインを活用して、防犯や安全安心まちづくりを呼びかけた。	ラベルシールに変更した店舗が増え、お弁当包装紙を使用しない店舗が増えてきた。
46	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社高知支店	1		通学路安全の日の見守り活動	毎月第3木曜日に、自社最寄りの高知市立昭和小学校区の通学路において児童・生徒の見守り活動を実施	
		1,3	地域見守り活動の実施	県民交通安全の日の見守り活動	毎月20日、自社最寄りの知寄町交差点において、通行者の見守り活動を実施	
47	損害保険ジャパン株式会社高知支店	1	交通安全啓発事業（黄色いワッペン贈呈事業）	自社の「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈 ※環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑剤を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ※2024年度 スローガン:「わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり」のポスター掲示	本事業は警察庁・全日本交通安全協会・全国連合小学校長会などの協力のもと、当社は1966年(昭和41年)から本事業に参画している。交通安全の啓発と交通事故防止を目的に高知県下の新小学1年生に「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈しており、子どもたちに「黄色いワッペン」をつけてもらうことで、交通安全をよびかけ、保護者やドライバーの方々への注意を促した。 ※高知市の小学校51校、2,365人の新1年生に贈呈し、交通安全を呼びかけた。	継続して実施
				高齢者を事件・事故から守る取り組み	①高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、啓発チラシを配布。 ②「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート ③「保険金請求詐欺」に対する啓発活動の実施。	・2024年10月、当社委託代理店と連携し保険金に関する悪質業者(特定修理業者)への注意喚起と被害防止を目的に帯屋町アーケード付近にて啓発活動を実施し、「高齢者を狙うケースが多い」「広域災害発生後は特に注意が必要」と呼びかけた。 ・当社委託代理店へ移動保険「UGOKU・UGOKU乗るビタ!」を推進し、高齢者に対して自転車事故の注意を喚起した。
		3	「安心で安全なクルマのある」暮らしの提供と「安心して運転でき、事故が起らない」社会づくり	①つながるドライブレコーダー「Driving!」の更なる周知と件数アップ ②CM放映、社内ポスターの掲示など各種ツールを活用した認知度向上 ③法人向け「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート ④9月24日交通安全広場へ参加し交通事故防止を啓発。	・社員・当社委託代理店向けに社内研修を実施し、高知県におけるドライブレコーダー市場の現状確認、必要性を周知した。 ・社内ポスターの掲示により認知度の向上を図った。 ・高知県警と共同でチラシを作成・配布し、事件・事故防止を啓発し、同時にDriving!の認知度の向上を図った。 ・2024年9月に開催された高知県警交通安全イベント(9/14イオンモール、9/21中央公園)に参加した。当社VR機器を活用し、仮想運転事故を体験するブースを設置。体験をとおして交通ルールの遵守や自転車運転時のヘルメット着用の必要性を啓発するとともに、事故防止・安全確認を呼びかけた。	引き続き、交通安全イベント等に参加し、より多くの方に交通事故の撲滅、事故防止を呼びかけていく
		5	社内向け取組（無事故・無違反運動の実施）	①年2回、社内無事故・無違反強化運動を実施し、社員ひとり一人の意識を向上。 ②アルコールチェック体制の厳格化。	・6月1日～8月31日の期間において無事故・無違反運動を実施した。 ・11月1日～翌年1月31日の期間において飲酒運転絶滅運動を実施した。 ・業務中に限らずマイカー通勤者も含め、運転前および運転後のアルコールチェックを実施。運転時の報告を義務化し、体制を強化した。 ・高知安全運転管理者協議会が実施する「飲酒運転撲滅キャンペーン」に協力した。	継続し、引き続き社員の意識向上に努めている
48	全国共済農業協同組合連合会高知県本部	1	JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催	「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝える。お子さまに人気のJA共済イメージキャラクターアンパンマンたちといっしょに交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供する。	県内2カ所(JA高知県共済事業本部、JA高知県高西地区)で開催した。	・天候に左右される ・アプローチ方法
			自転車交通安全教室の開催	中学校や高等学校への交通事故対策活動として、警察などと連携したスクアード・ストリート教育技法による自転車交通安全教室を実施する。生徒の前でスタントマンが交通事故を実演し、危険性を疑似体験させることで、交通安全意識を醸成する。	県内2カ所(三里中学校、高知商業高校)で開催した。	・天候に左右される ・敷地の確保 ・年齢条件の考慮
		3	自転車シミュレーター搭載車「すまいる号」による安全運転診断	自転車シミュレーターを搭載した自転車安全運転診断車「すまいる号」で、巡回型の自転車の安全運転診断を行っています。約5～10分程度の体験で自転車乗用中の交通ルールや危険予測を実践的に学習できます。	高齢者交通安全フェスタで開催した	・行列ができた場合の対処方法
			シルバー世代向け交通安全教室の開催	高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催する。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高める。	県内2カ所(高齢者交通安全フェスタ(高知県警察本部)、JA高知県香美地区)で開催した。	・同じ落語家の場合は、同内容となるため、スケジュール調整における選出が難しい。
		5	介助犬教室の開催	交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。社会福祉法人 日本介助犬協会の事業の支援や、NPO法人 日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ! 介助犬! JA共済はたらくワンフランド!」を開催しています。	県内4カ所(後免野田小学校、赤岡中学校、井口小学校、高知ろう学校)で開催した。	・介助犬ユーザーとのスケジュール調整
			ザブトン教授の防災教室	東日本大震災や熊本地震など過去の地震の揺れを再現できる地震動体験装置「地震ザブトン」を活用し、体感することで、備えることの大切さを学んでいただくプログラムである。イス型の地震動体験装置「地震ザブトン」+映像(13歳以上はVR可能)による揺れ体験と、レクチャーでの学びにより、防災知識を深めることができる。	JA高知県幡多地区十和支所において開催した。	・スケジュール調整

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
49	株式会社ローソン高知 (加盟店137店)	2	特殊詐欺等の被害防止への取組み	電子マネー購入の方に、高知県警察が推奨する「特殊詐欺等被害防止に関する注意封筒」を見せながら声をかけ、被害の有無を確認することで、被害を未然に防止する	封筒活用による特殊詐欺被害防止事例は3件(把握済案件)ある。利用客に対する封筒を活用した声掛けは、全店舗の3分の1ぐらいの店舗で実施されている。	全時間帯の従業員に徹底できていないこともあり、声掛けできない点もある。
50	セコム高知株式会社	1	青パト用車両での防犯パトロール	月2回を基本として、青色回転灯をつけた車両で、主に各学校近辺を主とした防犯パトロールを実施。	令和6年度は、高知市内の保育園や小学校等周辺において合計23回のパトロールを実施しており、活動中における事件・事故等の目撃はなかった。	
			「子ども110番の家」の活動の推進	「子ども110番の家」のステッカーを貼付した事業所(蔦絵台の事業所)において、子どもの安全を確保する活動を行い、地域安全に貢献する。	近隣の子供より落とし物に関する相談が2件あったものの、事件性はなかった。	
		2	特殊詐欺の防止	ATMでの補填業務対応時に、特に通話をしながらATM操作をしている利用者がいれば、積極的に声をかけ、場合によってはATM操作を中断していただく等の対応を行い、特殊詐欺被害の未然防止を図る。	ATM利用者から操作方法に関する問合せがあったが、事件性はなかった。	
51	株式会社フジ (高知エリア運営部8団体・約450名)	1,2,3	防犯・防災・交通安全等に関するイベントにおける広報啓発	複数の関係機関・団体が参加・協力し、県下の各店舗駐車場において、来店者に対して体験型のイベントを通じて、自分の身は自分で守る・地域の安全は地域で守るといった意識を育んでもらう。	①フジグラン野市店において、防災・安全フェアを開催 5月に、警察署・消防署・自衛隊等の協力を得て、防災・防犯に関する体験型フェアを実施した。 12月には、交通安全の意識向上を目的として、交通安全フェスタを開催した。 ②フジ宿毛店において、防犯・防災・交通安全フェアを開催 5月に警察署・消防署・自衛隊・海上保安庁・JAF等の参加・協力を得て、防犯・防災・交通安全等に関する体験型イベントを開催し、地域住民の意識向上を図った。 10月には「安全安心まちづくり」をテーマとした啓発イベントを開催し、地域安全や防犯の分野に関する意識の向上、具体的取組の推進を図った。	
		2	特殊詐欺等の被害防止活動	地元の警察署や高校生ボランティア団体と連携し、店舗出入口やキャッシュコーナー付近において、啓発物品を配布しながら注意喚起の声掛けを行い、被害防止を図る。	フジグラン高知店において、10月に特殊詐欺等被害防止啓発活動を実施した。 地元警察署の警察官、地元の防犯ボランティア団体の職員及び高校生ボランティア団体の生徒が、店舗出入口やATM付近において、啓発物品を配布しながら注意喚起の声掛けを行い、被害防止に努めた。	
		5	防犯啓発活動	110番通報の適切な利用を促進するため、地元の警察署や高校生ボランティア団体と連携し、店舗出入口周辺において、啓発物品を配布しながら適切な利用を呼びかける。	フジグラン高知店において、令和7年1月に実施した。 地元の警察署の警察官、高校生ボランティア団体の生徒が参加し、仮想の事件発生による110番通報の訓練や臨場した警察官とのやりとりを通じて、通報に必要な要領等を学んだ。その学びに基づき、来店者や通行人等に対して、110番通報の適正利用や通報要領等を呼びかけた。	
52	株式会社ダスキン中国・四国地域本部 (9団体、約400名)	1	子ども見守り活動	高知県警察本部と協定締結している「地域見守り隊」事業に係るステッカーを事業用車両に貼付し、子ども見守り活動を行うとともに、事件事故の被害防止活動を推進する。そして、当該活動の中で、不審者、不審車両等を発見した場合は、早急に警察へ通報するよう努める。	事業用車両に「地域見守り隊」のステッカーを貼付し、子ども見守り活動を行いながら、下校時間帯では、通学路及び周辺部での見守り活動を行った。	高知県警察本部及び管轄警察署からの事件事故の多発場所等、タイムリーな情報収集
		2	特殊詐欺防止活動	自社製作の「特殊詐欺被害防止用床マット」を活用して特殊詐欺等の被害防止を推進する。 また、高知県警察から提供される特殊詐欺等の多発に伴う警戒情報を職員や顧客に伝達し、特殊詐欺未然防止に対する啓発活動を推進する。	高知県警察から提供された特殊詐欺等の被害発生状況や防止対策等の情報を職員や顧客に迅速に伝達した。	「床マット」の設置箇所拡大を目的とした事業所に対する販売促進
		3	高齢者などの見守り活動	レンタル契約をしている各顧客の家庭へ4週間の間隔で訪問し、事件事故の未然防止に対する啓発及び注意喚起を行う。	レンタル業務を通じて顧客の各家庭を訪問し、事件事故の未然防止等を目的としたチラシを配付しながら啓発した。特に、独居高齢者には直接声かけをしながら、要望等の意見を汲み上げる活動も行った。	高齢者世帯の在宅時間に応じた柔軟な対応と隣家・隣室の居住者に対する協力依頼
		5	地域美化活動	創業当初から掲げている「身近に、未来にエコのタネまき」という環境スローガンに基づき、各地域本部エリア及び加盟店の事業所単位で定期的に地域のゴミ拾いの社会貢献活動を推進しており、継続する。	計画的かつ定期的に、各地域所在の公園及びその周辺部におけるゴミ拾い活動を行った。	
53	ミタニ建設工業株式会社 (職員約50人、令和7年4月末現在)	1	パトロールや情報共有の実施	会社周辺の通学路における見守り活動の実施	高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校他)における児童等の見守り活動を実施した。街頭指導並びに青色パトロール車による巡回(毎月1日、10日、20日、25日)	慣れによる活動意欲の低下
			安全シェルター活動の実施	子供の安全を確保する地域の防犯拠点としての役割を担う	①所属の営業所、現場事務所に、安全シェルターのステッカーを貼付した。 ②自社キャラクター「やいちゃん」の安全シェルターステッカーを作成し、順次貼り替えを行う。	今後、貼付箇所を増やしていく

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
54	高知ヤクルト販売株式会社 (職員約250人)	1,3	地域見守り活動の継続実施	お届け時に担当地域を回る中で何か変化(いつもと違うこと)があれば会社、民生委員に連絡をする。	お届け時に腕章をつけて地域を見回ることとし、ながら見守り活動を通じて地域の安全安心を確認した。また、顧客方を訪問し、住民の安全を確認して回った。それらの活動により、ヤクルトスタッフが地域の方を助け家族の方から感謝の言葉をいただいた。	全員が腕章をつけていない。 意識に個人差がある。 事例の共有が十分にできていない
		5	火災予防運動への参加	春と秋の火災予防運動に南国消防署と連携し、お届け時に啓発チラシを配布する。 高知市消防局と連携し、火災予防運動に参加する。桂浜地区、あさくら地区、五台山地区、城北地区、薊野地区、城東地区において、お届け時に啓発チラシを配布する。	南国市を担当するヤクルトスタッフに期間中約1,400軒にチラシを配布、火災警報器の設置・点検・交換など伝えて回った。幼年消防クラブ防火演奏会にも参加し、火災被害防止の取組を呼びかけた。 高知市南消防署管内桂浜地区のお客様に約900軒、中央消防署管内あさくら地区のお客様に約1,400軒、東消防署管内五台山・城東地区のお客様に約3,000軒、北消防署管内城北・薊野地区のお客様に約2,000軒のチラシを配布し火災警報器の設置・点検・交換などを伝えて回った。3月に五台山・あさくら地区では高知市消防局から依頼があり250軒のアンケート実施に協力した。	新しい情報を加えて伝えていく 全軒のお客さまには配布できていない。引き続き留守宅への対応徹底が必要
			熱中症チラシ配布に伴う見守り活動	高知市消防局救急課と連携し、桂浜地区、あさくら地区、五台山地区、城北地区で熱中症のチラシを配布する。	桂浜地区のお客様約900軒、あさくら地区のお客様約1,400軒、五台山地区のお客様約1,500軒、城北地区のお客様約1,000軒に対して熱中症予防のチラシを配布し、注意喚起を行った。	全軒のお客さまには配布できていない。引き続き留守宅への対応徹底が必要
55	一般社団法人高知県ハイヤー協会 (会員事業者70人、令和7年3月31日現在)	1	パトロールを実施	毎日の業務を通じてパトロール、見守りを実施。不審者などを見つけた場合は警察に通報する。	業務を通じてパトロールや見守りを実施した。	
		2	特殊詐欺等被害防止活動	高知県警察、公益社団法人高知県防犯協会からの情報提供を会員へ迅速に連絡し、利用者等への被害を防止する。	ハイヤー等の利用者への声掛け、不審者に関する情報提供などを行った。	
		3	関係機関との連携	高知県警察が行う行方不明者等の調査に協力し、対象者の早期無事発見に協力する。	高知県警察から協会又は各会員に対して行方不明者等の調査がある場合は、必要に応じて各会員に迅速に連絡するとともに、調査に協力した。	
56	ヤマト運輸株式会社高知主管支店	1	安全教室・環境教室の開催に伴う安全安心まちづくり活動の推進	地域密着での職業体験等活動や各種教室の開催などの取組を通じて、安全で安心な地域づくりを推進するとともに、地域住民の安全を守る。	『体験の国 ほのぼの王国』子供たちに自然の中で憧れの職業に係る車両(消防車、救急車、パトカー、自衛隊車両、郵便局車両、ヤマト運輸車両、クレーン車、ダンプカー、重機車両)に乗ってもらうなど、様々な職業の活動を体験してもらうことにより、各職業の役割のことやそれらの職業が地域の安全にどのように関わっているのか等を学んでもらいました。 嶺北営業所で大豊小学校2年生との職場環境教室を実施。	
		3	地域住民と連携した交通安全啓発活動(ドライバー・サービス)		高知市、土佐市、黒潮町での交通事故ゼロ運動期間中に警察、地元の婦人会、中学生と連携して啓発ティッシュ等を配布し、交通安全を呼びかけた。	
		5	地域住民との清掃活動		土佐営業所において、地元蓮池地区の事業所と協力して毎月地域の清掃を行った。	
57	有限会社四国浄管 (社員20人)		防犯CSR活動の推進を強化する	防犯CSR活動として、高知県警察が取り組む「防犯カメラ設置支援事業費補助金」制度に係る広報用チラシを作成し、県民に広報する。	「防犯カメラ設置支援事業費補助金」制度に係る広報用チラシを3000部作成し、6月に高知県警察に提供した。	警察の各部署のみに留まらず、自治体、教育委員会など各種団体他、民間企業にも案内する。
		5	清掃、緑化などのボランティア活動を推進する	毎月1回、本社及び円行寺営業所周辺における道路沿いの草刈り、ゴミ拾い、側溝の掃除等の清掃活動を行う。	毎月末の土曜日の午前7時～7時30分の間に計画通り清掃活動を行った。 SNSで活動を発信した。	社員15名程度で行っているが、地域の方にも参加いただき、久万川周辺の環境を地域の皆様とより良くしていきたい。
58	富国生命保険相互会社高知支社	1	ながら見守り運動の推進	高知支社の職員が「ながら見守り」運動の反射材を着用して見守り活動を実施する。	通常業務に合わせて、反射材を装着して地区の安全を見回った。	
		2	特殊詐欺被害防止活動への参加	高知県警察と連携して、被害防止啓発用ポケットティッシュ、チラシ、うちわを制作し、県民に配布して被害防止を呼びかける。	特殊詐欺等被害防止啓発用ポケットティッシュ、チラシ、うちわを高知県警察と共同で約2000個配布し、被害防止を呼びかけた。	継続して参加する必要がある。

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)による令和6年度の取組実績について

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう／2 特殊詐欺の被害を防ごう／3 高齢者などを事故や事件から守ろう／4 鍵かけ運動を進めよう／5 その他)

番号	団体等の名称	重点項目	取組の概要	令和6年度に行った取組		
				計 画	実 績	課 題
59	パナソニックマーケティングジャパン株式会社中四国社	2,3	高知県警察、高知県、高知県教育委員会との連携した地域安全に関する取組を推進する	高知県警察と連携して、特殊詐欺等の被害防止に向けた啓発チラシを作成(増刷)する。 高知県警察に対して、防犯機能付き電話機18台の貸し出しを継続する。 高知県、高知県警察、高知県教育委員会が大型ショッピングモールで主催する防犯啓発イベントにおいて、特殊詐欺等の犯罪に対する被害防止を呼びかけるため、防犯商品の展示実演活動を行う。	●2024年5月納品 8000枚作成 高知県警察本部を通じて各警察署のほか、県内各地区にある関係団体へ配布し、啓発活動に活用した。 防犯機能付き電話機 VE-GD78DL-W 18台 高知県内各署に貸出し、各地区にてイベント時等に防犯効果を体感していただいた。 令和6年10月20日、イオンモール高知店において、迷惑電話撃退電話機やドアホンカメラの効能実演を行い、併せて防犯啓発チラシと記念品300セットを配布して啓発を行った。	
60	株式会社エフエム高知(協賛社77社)	1	防犯ブザープレゼントキャンペーン	子供たちが犯罪等の被害に遭わないよう、防犯ブザーをプレゼントするとともに、子供たちへの犯罪を防止する啓発CMを放送。	高知県下の新小学1年生全員(4850人)に高知県教育委員会を通じ、防犯ブザーを寄贈し、この取組をラジオ等で広報した。	観御様からの反響を十分刈り取れていない。
61	一般社団法人生命保険協会高知県協会(構成団体数16団体、令和7年4月1日現在)、(構成員約1,700人、令和6年7月1日現在)	2	特殊詐欺被害防止チラシ配布活動+声掛けの実施	効果的な被害防止活動の推進	令和6年12月13日の年金支給日に合わせて、協会主催、高知県警察・高知財務事務所・公益財団法人暴力追放高知県民センター・高知県庁・高知県立消費生活センター・高知市役所の協力を得て、総勢80名、高知市内8か所で「特殊詐欺被害防止チラシ等啓発物品2,000セットを配布しながら被害防止の呼びかけを実施した。報道各社によるニュース等での放送が行われ、県民への注意喚起につながった。	
62	電化工事株式会社	5	防犯啓発イベントへの参加	防犯対策の呼びかけ 高知県や高知県警察との連携し、地域への啓発活動を実施	県内のショッピングセンターにおいて、防犯カメラ機器を展示して、機器の紹介を行ったり、各種防犯対策を説明したりして、啓発を行った。	簡易チラシや販促物の開発